2026 年 11 月 20 日
日本銀行盛岡事務所

岩手県金融経済概況（2026 年 10 月）

１．概　　況

県内経済は、一部に弱めの動きもみられるが、持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。この間、生産は、増加している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

２．最終需要

公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

先行指標である公共工事請負金額（2026 年 10 月）は、2 ヵ月振りに前年を上回った（前年比＋12.4%）。

設備投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

2026 年 9 月短観（岩手県）の設備投資額をみると、2026 年度は非製造業が前年度を上回る一方、製造業が前年度を下回っており、全産業では前年度を▲1.7%下回る計画となっている。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店・スーパー売上高（全店舗ベース：2026 年 9 月）は、2 ヵ月連続で前年を上回った（前年比＋4.5%）。新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2026 年 10 月）は、2 ヵ月振りに前年を上回った（同＋1.8%）。

この間、サービス消費は、緩やかに増加している。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

新設住宅着工戸数（2026 年 9 月）は、5 ヵ月振りに前年を下回った（前年比▲11.9%）。内訳をみると、分譲（同＋36.0%）が前年を上回った一方、持家（同▲27.8%）、貸家（同▲0.5%）が前年を下回った。

3．生産動向

生産は、増加している。

鉱工業生産指数（季節調整値：2026 年 8 月）は、4 ヵ月連続で前月を上回った（前月比＋2.7%）。主な業種の指数をみると、生産用機械等が低下した一方、電子部品・デバイス等が上昇した。

四半期の動きをみると、2026/4～6 月は 4 期連続で上昇した（2025/10～12 月：前期比＋4.7%、2026/1～3 月：同＋5.2%、4～6 月：同＋0.7%）。

4．雇用・所得動向

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2026 年 9 月）は、1.21 倍と、前月（1.21 倍）と同水準だった。

雇用者所得（県内合計値：2026 年 8 月）は、名目賃金指数（前年比＋2.5%）、常用雇用指数（同＋1.6%）が前年を上回ったことから、2 ヵ月連続で前年を上回った（同＋4.2%）。

5．物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2026 年 9 月）は、引き続き前年を上回った（前年比＋2.6%）。

6．企業倒産

企業倒産（2026 年 10 月）は、7 件、負債総額 8,982 百万円となった（前年同月は 8 件、負債総額 810 百万円）。

7．金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2026 年 9 月）をみると、預金、貸出ともに前年を上回った。貸出約定平均金利（2026 年 8 月）は上昇している。

以　　上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622
＜ホームページ＞